

コロナ感染急拡大の沖縄

学童保育も大混乱

米軍由来の新型コロナウイルスの感染者が爆発的に増えている沖縄県では、子どもたちが通う学童保育（放課後児童クラブ）にも大きな影響が出ています。

沖縄県学童保育連絡協議会の伊波奈津美・事務局長は「指導員や通所する子どもたち、同居家族にも陽性者や濃厚接触者が増え、開所を余儀なくされる施設も出ていました」といいます。

学童保育 日中、保育者が家庭にいない児童を預かる事業。学校の空き教室や公民館などで預かる事業。

検査にも難儀 保健所がひつ迫しているため、濃厚接触者と判断されてもPCR検査

指導員が保健所に濃厚接触者と判断された場合、2週間の自宅待機と出勤停止になります。伊波さんは「職員体制が保

てない。アルバイトも含め通常4人体制のところ、2人で対応している学童もあります」と頗る訴えます。

は「週間待ち」という自治体。「検査結果が分からず、不安を抱えたまま開所せざるを得ない学童もあります」

一方、施設側が国に判断で閉所した場合、国は補助金の対象外になります。休校時に、学童保育は「原則閉所」を求められ、子どもたちの受け皿となりました。しかし、職員体制がとれず全国的に大混亂に。子どもと家庭を守る「社会的インフラ」であるにもかかわらず、公的な位置づけの脆弱（ぜいじやく）さが明らかになりました。

伊波さんは「職務に応じた人材配置や労働環境の改善も放置されたまま。全国的にいつ、どこで感染が広がるか分からぬ状況です。感染防止対策とともに、学童保育の拡充を国に求めたい」と語ります。（高川章子）

「国は拡充・改善を」



学童保育 日中、保育者が家庭にいない児童を預かる事業。学校の空き教室や公民館などで預かる事業。

「子ども・子育て支援法」に定められています。全国学童保育連絡協議会によると、全国に3万4430クラス

学童保育 日中、保育あり、入所児童数は130万7699人（2021年5月現在）。

面積や設備が不十分な施設も多く、指導員不足も深刻です。同会の18年調査では、週20時間以上勤務する指導員の約半数は年収150万円未満。

子どもたち手作り絵本の読み聞かせをする指導員=沖縄県内学童保育（沖縄県学童保育連絡協議会提供）

す。「運営費はもともとギリギリ。少しでも予算を削られると運営が成り立たない。国は柔軟な対応をしてほしい」と訴えます。